

基礎演習概要（コース）

コース 番号	1	コース名	福祉実践コース	コース定員	150名
-----------	---	------	---------	-------	------

1. キーワード

子ども、家族、障害者、高齢者、直接援助、生活問題、保育

2. 基礎演習の狙い

福祉実践コースの基礎演習では、自らが主体となり福祉を実践していくための基礎的な力を身につけるため、以下の3つを重視して実施します。

- ①福祉実践コースが対象とする領域について理解する
- ②当事者が抱える問題と社会との関連について理解する
- ③専門演習に向けた研究方法の基礎を身につける

3. 社会福祉基礎演習コース共通要素

福祉実践コースの基礎演習では、上記の狙いを達成するため、まずは対象となる領域についてこれまでの実践や研究に関する文献等を読みこみ、そこから自分なりの問題意識を形成し探求する力を養うことを目標に、以下の要素を共通して取り入れて実施します。

- ①専門分野に関する参考文献や資料を検索する
- ②専門分野に関する参考文献や資料を読み、理解し、適切な方法で引用する
- ③議論するためのレジュメを作成し、プレゼンする
- ④研究方法の基礎を身につける
- ⑤研究した結果をレポートにまとめ、教員の指導を受けた後、報告書として提出（前・後期各1回）
- ⑥研究の成果を報告する（後期のおわりに報告会開催）

4. 所属ゼミ決定方法

所属ゼミの決定方法については、コース所属決定時に、あらためて決定方法を案内します。

コースからのメッセージ

このコースは、当事者の「生活」や「ところ」に関心をもち、「人と関わるとは」「人を支援するとは」どういうことかについて深く学ぶコースです。人と関わること、支援することを考えるためには、様々な人と関わりをもち、今この社会で生きることの意味や困難さを肌で感じるということがとても重要です。同時に、これまで行われてきた先人たちの実践や研究を分析し、何が明らかとなって、何が課題となっているのか、自分たちが考えるべきことは何かを考察する力を身につけることも必要です。そうした分析力、考察力は、将来、当事者と関わり必要な支援（手立て）を考え実践していく上で必要不可欠な力になります。このコースでは、じっくりと物事を考え、自分自身の意見を表現する、他の学生とも協力しながら積極的に自ら動いて学ぶ姿勢が求められます。そのため人とのコミュニケーションをいとわない、当事者が生活する場に自ら足を運ぶことが求められるコースです。将来、人々の生活に直接かかわって福祉の仕事をしたいと考えている人に、このコースを選択してもらいたいと思います。